

## 給水タイムに関するガイドライン

本年度は、過酷な暑さのため熱中症による死亡事故が発生している状況がある。そのためハンドボール競技においては、熱中症の予防対策として、正規の競技時間における前半および後半の12分前後、および延長戦におけるハーフタイムに給水時間を設定する。いかにそのガイドラインを示す。

- 1 TDは正規の競技時間における前半および後半の11分が経過したら、各チーム役員に対し、「次の競技中断時に給水タイムをとります」と告げる。チーム役員はこれを断ることはできない。
- 2 チーム役員に告げた後、競技時間が中断した時点で、タイムキーパーをつとめるTDは、笛を吹き、公示時計を止め、給水タイムであることを明確に告げる。
- 3 給水タイムは1分とする。チームは戦術指示よりも選手の給水を優先する。TDが管理する。レフェリー、TD、補助役員も給水をとる。
- 4 50秒経過時点で、TDは笛を吹き、コートに戻るよう促す。以下はチームタイムアウト後と同様にして競技を再開する。
- 5 TDがチーム責任者に告げた段階でボール所持しているチームがチームタイムアウトを請求することも可能である。告げた後、競技が中断するまでも同様。その場合は、正規のチームタイムアウトに加え、1分間の給水タイムを追加する。合わせて2分間となる。1分間50秒が経過した時点でタイムキーパーは笛を吹く。
- 6 TDがチーム責任者に告げた後、次の競技中断が7mスローの場合は、7mスローの結果が出た段階で、競技を中断させる。
- 7 延長戦のハーフタイムは2分とする。1分間のサイド交代に加え、1分間の給水タイムを設ける。